

タイの医療事情 – 富裕層向け病院

- タイの私立病院には、日本では馴染みのない「自由診療」制を採る病院が多く、診察費・治療費・薬代は医師が自由に決められるため、支払額が各院の体制により大きく異なる
- バンコクには、タイ人および外国人を対象とした富裕層向けの病院が複数存在する

【富裕層向け病院の例】

- サミティヴェート病院スクムビット(Samitivej Sukhumvit)
 - ・ 日本人エリアの中心にある病院。産婦人科では妊娠中の検査、診察、出産、産後検診まで同じ医師が担当しており、産科医が24時間勤務している。<https://www.samitivejhospitals.com/sukhumvit/>
- バンコクナーシングホーム病院(Bangkok Nursing Home Hospital)
 - ・ 日本人が多く働くエリアにあるホテルのような病院。不妊治療に定評があり、産婦人科医が救急対応している。<https://www.bnhhospital.com/>
- バンコク病院(BANGKOK HOSPITAL)
 - ・ タイ最大の病院グループ。日本人専門のクリニックがあり、日本の医学部や歯学部を卒業した医師が日本語で対応してくれるほか、通訳者が24時間常駐しているため日本語対応のコールセンターも24時間相談が可能。<http://www.bangkokhospital.com/>
- プララム9病院 (PRARAM 9 HOSPITAL)
 - ・ 診療時間は24時間365日、産婦人科には日本語を話せる医師がおり、不在の場合は日本語通訳が対応してくれる。日本語を話す医師希望の場合は要予約。傷をつくらない治療を推奨している。
<https://www.praram9.com/>